

会 議 録

| | | | | | | |
|--------------------|-----|--|----|------|------|-----|
| 会議名 (審議会等名) | | 第 6 回中央地区まちづくり会議 | | | | |
| 事務局 (担当課) | | 中央区役所 地域振興課 本庁地域まちづくりセンター 電話 0 4 2 - 7 0 7 - 7 0 4 9 (直通) | | | | |
| 開催日時 | | 令和元年 1 2 月 1 2 日 (木) 1 9 時 0 0 分 ~ 2 1 時 1 0 分 | | | | |
| 開催場所 | | 中央公民館コミュニティ室 | | | | |
| 出席者 | 委員 | 1 9 人 (別紙のとおり) | | | | |
| | その他 | 1 人 | | | | |
| | 事務局 | 2 人 (本庁地域まちづくりセンター) | | | | |
| 公開の可否 | | 可 | 不可 | 一部不可 | 傍聴者数 | 0 人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | | | | |
| 会議次第 | | 1 開 会 2 事務連絡 (1) 富士見小学校 6 年生の総合学習での取り組みについての紹介 3 議 題 (1) まちづくりを考える懇談会について (2) 今年度の中央地区まちづくり会議で取り組むテーマについて (3) その他 4 閉 会 | | | | |

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(は委員の発言、 は事務局の発言、 は校長の発言)

1 開 会

牛尾会長あいさつ

2 事務連絡

富士見小学校二宮校長から、同校 6 年生の総合的な学習の時間での取り組み内容について紹介がされた。

主な意見・質疑

○西門商店街は本来中央小学校の学区であり、また矢部エリアも一部含まれることから一体として取り組みを考えていただけるとありがたい。子どもが来ると親が付いてくるということもあり商店街としては大変歓迎をしている。是非、まちづくり会議委員の皆様も西門商店街にお越しになって、生徒達が企画した商品を購入していただき盛り上げていただきたい。

○企画実施に掛かる経費についてはどのように捻出しているのか。

企画に賛同してご協力頂いているお店に頼っている。このため、販売で売り上げた収益はお店のものとなり、生徒達はお金に関わることは行っていない。

○生徒達は商品開発には関わっているのか。

生徒達自ら商品の企画を立て、実際に学校で試行錯誤して試作し、その後、お店にも相談をしていくなどのプロセスを何度も行った。

○今後、ちゅうおうくらしねっとでも情報収集しPRをしていきたい。

3 議 題

(1) まちづくりを考える懇談会について

事務局から資料に沿って、11月7日(木)に実施された令和元年度中央地区まちづくりを考える懇談会「地域の未来を語ろう with 市長」の開催結果について報告を行った。その後、各グループごとに議論し、グループ内での検討結果について代表者から発表がされた後に全体での意見交換を行った。

主な意見・質疑

○毎年、懇談会は開いて頂いているものの時間が短く十分な懇談が出来ない。また、議題をあげても、それに対する適切な回答や経過としてどうなっているのかが分からない部分がある。たとえば、今回も富士見小学校の拡幅の話が出ているが、では

いつ拡幅が実現できるのかなど、市から明確な回答がないため結果が曖昧なものがある。テーマとして取り挙げた内容が、1年間の中でどう改善されたのかを市にはしっかりと示してほしい。

委員の方が所感として抱えている市の回答の分かりにくい面などについては最大限解消していきたいと考えている。全体的に市から明確な回答がないというご意見について、具体的にどのような点が明確でないのかあるいは回答がないと感じているのかについて、今後個別に委員の方にも確認をしていくのでご協力いただきたい。

○地域として、市の回答で曖昧だと感じる点については、今後フォローをしていかなければならない。必要があれば担当部署などをまちづくり会議に呼びディスカッションをしていくことも考えたい。また、富士見小学校の拡幅の件については数年前より地域の要望として、防球・防砂ネットの移設までを要望しており、この件については市も認識をしていると思うが、一部実施に留まっている。ただ、懇談会での市の回答を聞くと担当も代わっているからか、地域と市の間で認識の相違があるように見受けられる。この課題に対しては、今後、学校側の要望も改めて確認し、必要があれば市に対して再度要望書を提出するなどのアプローチも必要になってくるかと思う。

○私からみると、(富士見小)学校側がもう少し校庭の拡幅に関して熱意を持って取り組んでほしいという思いでいるが、昨今では学校側は中々教育委員会に対して物を言いにくい雰囲気があるように感じられる。(この課題に対しての)懇談会での市の回答では、地域の拡幅に対する動機について、運動会の観覧席がないという理由を挙げているが、それだけではない。富士見小学校は中央小学校と比較しても倍近い生徒が在籍しており、様々な運動をする面で支障が出ていることから、PTAなどと協力してここまで進めてきた経過がある。この問題が一向に先に進んでいないことをみると、こうした本質を市が理解していないのか、それとも地域としての対応が不足しているのかは分からない。個人的には今後も他の委員の方々等の意見も伺いながら進めていきたい案件である。

○こうした学校の問題については通常であれば、学校側から地域に対して話が下りてくるものであるが、今回の件に関しては逆になっている。結局のところ、地域だけで騒いでいても意味がない。

○まちづくり会議で当初予定していた目標の達成度については、公園問題チームとしては、公園課からも今後協力して頂けるとの前向きな回答を頂けたため成果があったと認識しており、年明けにでも再度分科会を行い方向性を決めていきたい。次に、当日の運営面に関しては時間が足りなかったという意見があった。これについての改善策としては自己紹介を省略し懇談時間を多く確保した方がよいと考える。もう一点としては、質問内容について状況説明が中心になっており、肝心の質問部分が

しっかりと市側に伝わっておらず、結局のところ回答も曖昧になってしまっていると感じた。質問内容についてはもう少し明確にして事前に先方に投げかけておくなどの配慮が必要である。それから、今後の課題に対するアプローチとしては、地域側として市からの回答を受けて、どのような取り組みを進めていくのか提案をしていく方が有効だと考える。たとえば、富士見小学校の校庭開放については、見守り人材が不足しているという意見があったため、では見守り人材を地域から出すのももう少しオープンに開放してもらえないかなどの提案をしていくことが考えられる。ただ単に懇談会で意見を言ってお終いにするのではなく、まちづくり会議内でも課題解決に向けて継続してフォローしていく姿勢が必要である。

○懇談会で話す内容及び発言者等については、このまちづくり会議内で議論をして事前に決めたはずだが、懇談会当日になって当初予定されていなかった内容を話す委員がいたことで時間が足りなくなってしまった面がある。こうした事態に対しては、しっかりと議長が止めていただくなどの対応をしてもらいたい。また、当日は配布予定のなかった資料まで配布されたが、こうしたことを許してしまうと、これまでにまちづくり会議内で議論した内容が意味のないものになってしまう。全体的に会の進め方として正しいものではないと考える。資料についても内容が正しいかも判断するため、事前にまちづくり会議にしっかりと周知しておくべきである。

○この件に関して議長としては、今回のテーマに関連するものだという認識のもと了承した。資料についても市に対して理解してもらうための必要資料との認識があり、そこまで問題にするものでもないと考える。

○この件に関しては、懇談会前の最後のまちづくり会議にて議論には出ており、そこで他の委員の方も頷いていたため懇談会当日に取り上げた。資料そのものについては事前に市側には配布をしていないが、市職員に対しても問題の認識を深めていただくために配布した。

この件に関しては、取り上げた内容がテーマに沿ったものかというよりも、事前にしっかりとまちづくり会議内で合意形成がされていたのかということが問題の本質だと思う。まちづくり会議内で周知や合意形成がされていなくとも、懇談会の場で突然資料配布や話をすると、他から見れば、それがあたかも中央地区の意見として捉えられてしまう可能性が危惧される。結果として、まちづくり会議内での合意形成の仕方に不明確な部分があったことが指摘できるため、今後はたとえば必要に応じて議決を取るなどして合意形成の結果を皆から可視化できるような対応を行えば、こうした問題も解消されていくのではないかと考えられる。

○富士見児童クラブ第3室については、こども・若者未来局長の回答にもあるとおり、現状は第3室での見守り人材が確保できない状況があるため使用されていない。このまま使用できないようであれば定員を減らすなどの対応を取らないといけないうと思う。また、定員数は確保しておかないと待機児童問題を解消できないという

市の考えも承知はしているが、現場の実情と乖離しているように見受けられる。

結果

- ・富士見こどもセンターにおける児童数の過密状況について
今後もう少し問題の中身を整理して経過を追っていく。
- ・富士見小学校の校庭開放について
地域内で見守り人材を出すなど、地域発信の課題解決策を提案していきながら進めていく。
- ・公園の利活用ルール作りについて
懇談会結果を受けて分科会で再検討し、必要に応じて公園課と連携しながら進めていく。
- ・富士見小学校校庭の拡幅について
地域の意見だけではなく、学校とPTAの意見も改めて伺った中で必要に応じて検討を進めていく。

(2) 今年度の中央地区まちづくり会議で取り組むテーマについて

各プロジェクトチームごとに議論した後に、各チームの進捗状況の報告と今後の取り組み方について発表を行った。

主な意見・質疑

(交通事故対策チーム)

○今後の方向性としては、中央地区内で発生している交通事故に関連する情報を収集した上で、3月末あるいは遅くとも5月末を目途として資料をまとめていく。その際、委員自身が実際の事故現場や危険個所に行って調べていきたい。議論の中では委員から電柱幕「自転車も止まれ」の不足あるいは破損や横断歩道の往来が激しい地域の確認などの意見が出た。また、地域でも調査を進めていく中で地域だけでは対応が困難なものが確認された場合には、市や警察等にも要望して協力をしてもらおうと考えている。また、チームメンバーだけでは負担も大きいことから、資料作成にあたっては会長等にもご協力を頂きたい。

配布した参考資料の補足説明だが、まず市交通・地域安全課所管の「交通事故発生箇所MAP」には道路形状や事故形態、事故発生時の行動など詳しく表示されるので実際の現場確認の前にも確認し参考にしてもらいたい。また、本田技研工業株式会社が運営している「SAFETYMAP」は上記MAPと異なり、閲覧者が自由に危険箇所の入力をして更新することが出来る点に特徴がある。せっかく委員の皆さんが現場に行って確認をするということであれば、それを当該MAPに落として、たとえば、子どもが集まる行事などで周知するだけでも効果があると思われる。

(公園問題チーム)

○公園チームはまちづくりを考える懇談会開催以前からチーム会議を実施しており、これまでに委員各人が実際に中央地区内の公園に行って調査をして資料にまとめた。懇談会では公園課より一緒に検討していきましょうという話も頂いたので、今後はその方向でも考えていきたい。また、公園課に対する質問の仕方としても、単純にボール遊びについて確認を求めても明確な回答は得られないと思うので、地域として具体的な活用ルールなどを決めて提示し確認を求める方法が有効であると考え。この狙いとしては、地区内にある既存の公園の有効活用と可能であれば高齢者向け健康器具の設置である。総じて、子どもの居場所づくり、三世代交流、見守りということを軸にしっかりと取り組んでいく。今後の具体的なステップとしては、年明けにチームで再度会議を実施し、まずは活用ルールを決めるにあたって明確にしたい内容の整理を行う。そして、まとまった内容を基にして公園課との協議に臨んでいくということで意見が一致した。そして、完成したのについては地域の方に知っていただくために広報活動にも力を入れていく予定である。ただ、注意しなければならない点としては、チーム内だけで検討したところで地域の意見としては乏しいため、内容が固まってきた段階でそれぞれ公園を管理している団体にも話し合いに加わっていただき意見を求めたらどうかという意見も出た。

(自治会加入促進チーム)

○自治会加入促進チームでは、先日チーム会議も実施したが、自治会加入促進に関して特効薬のようなものはないものとの認識が共通であった。また、中央地区に関しては33自治会あり、皆で統一的な取り組みを行うことも中々難しい状況にあると感じる。また、各自治会ごとに状況は異なり、それぞれがその状況に応じた様々な取り組みを展開していると見受けられる。こうしたことを踏まえて、まずはそうした各自治会ごとの取り組みを情報収集し、今後、自治会長等が代わった場合でも自治会活動を円滑に進められる手助けとなるような冊子を作成していこうという方向性にまとまった。また、その他の意見として、将来的にゴミ袋が有料化された際に、自治会員にはゴミ袋を安く販売しようという意見もあった。今すぐには実行できる話でもないが良い意見だと感じたので述べさせていただく。

○冊子はいつ頃までの完成を予定しているのか。

○令和2年3月末頃までを目指したい。

(3) その他

- ・事務局から資料を配布し「(仮称)相模原市総合計画基本計画(案)」について令和元年12月5日(木)から令和2年1月14日(火)にパブリックコメントを募集

することについて説明した。

- ・事務局から令和2年度中央地区地域活性化事業交付金報告会実施の有無について委員全体に対して確認し、結果、実施することに決定した。また、今年度の報告会同様、講師を招いて講義を行っていただくこととし、希望の講師等がある場合には個別に事務局まで相談いただくよう伝えた。
- ・事務局から「(仮称)相模原市行財政構造改革プラン」の策定に向けた意見募集が令和元年12月11日(水)から令和2年1月31日(金)の期間に行われることについて説明した。
- ・会長から現在、相模総合補給廠一部返還地を候補地として、「多機能複合型スタジアム」の整備を求める署名活動が行われていることを周知した。
- ・会長から、令和2年1月10日(金)に開催される「110番の日」のイベントに、本市出身である医師でタレントの西川史子氏が一日警察署長に就任することが決定したことが周知された。これに伴い、同日午後1時から市産業会館にてトークショーも行われる予定のため委員等の出席も呼び掛けた。

4 閉 会

以 上

第6回中央地区まちづくり会議(12月12日開催)出席予定委員名簿

| | 氏名 | 役職 | 選出団体名等 | 出欠 |
|----|--------|-----|-----------------|----|
| 1 | 牛尾 良一 | 会長 | 中央地区自治会連合会 | 出席 |
| 2 | 高橋 征彦 | | 中央地区自治会連合会 | 出席 |
| 3 | 中川 清一 | | 中央地区自治会連合会 | 出席 |
| 4 | 田坂 正子 | | 中央地区自治会連合会 | 出席 |
| 5 | 徳田 文夫 | 副会長 | 中央地区社会福祉協議会 | 出席 |
| 6 | 鎌倉 轟 | | 中央地区民生委員児童委員協議会 | 出席 |
| 7 | 小金澤 近雄 | | 中央地区民生委員児童委員協議会 | 出席 |
| 8 | 今井 千春 | | 中央地区老人クラブ連合会 | 欠席 |
| 9 | 岡野 博 | | 中央地区青少年健全育成協議会 | 出席 |
| 10 | 松田 正則 | | 中央地区健康づくり普及員協議会 | 出席 |
| 11 | 島村 春男 | | 中央地区防犯協会 | 出席 |
| 12 | 守屋 守 | | 交通安全協会 | 出席 |
| 13 | 岩下 孝二 | | 中央地区連合自主防災隊 | 出席 |
| 14 | 中西 智子 | | 中央小学校PTA | 欠席 |
| 15 | 力石 武史 | | 弥栄小学校PTA | 欠席 |
| 16 | 佐藤 匠 | | 富士見小学校PTA | 欠席 |
| 17 | 岡本 和茂 | 副会長 | 中央公民館 | 出席 |
| 18 | 浦上 裕史 | | 中央地区内商店街 | 出席 |
| 19 | 澤畔 正裕 | | 中央高齢者支援センター | 欠席 |
| 20 | 代田 昭 | | 公募委員 | 欠席 |
| 21 | 秋葉 秀二 | | 公募委員 | 出席 |
| 22 | 倉澤 良明 | | 公募委員 | 出席 |
| 23 | 木口 榮 | | 公募委員 | 出席 |
| 24 | 鳥海 千秋 | | 公募委員 | 出席 |
| 25 | 井之上 久 | | 公募委員 | 出席 |